

シンポジウム 1
「コロナ禍での大学生・研修医のメンタルヘルス」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
会 場 : C会場 (福岡サンパレス 2F 「パレスルームB」)

司会: 高橋 英彦

東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医学
科学

村井 俊哉

京都大学大学院医学研究科 精神医学教室

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S1-1	1	コロナ禍における総合大学学生の就学状況とメンタルヘルス	足立 浩祥	大阪大学キャンパスライフ健康支援・相談センター	30	
S1-2	2	医療系総合大学におけるコロナ禍の学生メンタルヘルス	平井 伸英	東京医科歯科大学	30	
S1-3	3	COVID-19パンデミックの影響下における研修医のメンタルヘルスの問題	植野 司	京都大学医学部附属病院	30	
S1-4	4	精神科専攻医を対象としたWebアウトリーチによる遠隔支援	谷 英明	慶應義塾大学医学部精神・神経科学教室	30	
総合討論						0

シンポジウム 2

「精神科・一般救急医療連携の深化に向けて ～様々な好事例にみえる熱意・信頼・好奇心から学ぶ～」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30～10:30
会 場 : D会場 (福岡サンパレス 2F 「平安」)

司会: 藤田 潔
三宅 康史

桶狭間病院 藤田こころケアセンター
帝京大学医学部附属病院救急医学講座

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S2-1	1	精神科救急スクリーニング&トリアージツールは精神科・一般救急医療との連携強化に有用である	橋本 聡	独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター	15	
S2-2	2	精神保健福祉士はこころと身体、地域をつなぐ～当院における6年間の取り組みから～	佐々木 由里香	山梨県立中央病院	15	
S2-3	3	精神科と救急科の狭間で	北元 健	関西医科大学総合医療センター	15	
S2-4	4	市中病院救急科の取り組み	内藤 博司	広島市立広島市民病院 救急科	15	
S2-5		指定発言	杉山 直也	公益財団法人復康会沼津中央病院	10	
総合討論						50

シンポジウム 3

「月経前不快気分障害(PMDD)の理解を深めるために」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
 会 場 : G会場 (福岡国際会議場 5F 「501」)

司会: 大坪 天平 東京女子医科大学附属足立医療センター精神科
 武田 卓 近畿大学東洋医学研究所

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S3-1	1	月経前心身不調(PMS/PMDD)に関する生物心理社会的要因を探る	松本 珠希	四天王寺大学教育学部教育学科保健教育コース	23	
S3-2	2	月経前症候群・月経前気分不快障害の診断・治療の現状と問題点～産婦人科医の立場から	武田 卓	近畿大学	23	
S3-3	3	女性ホルモンからみたPMDDへの対応	小川 真里子	東京歯科大学市川総合病院産婦人科	23	
S3-4	4	月経前不快気分障害(PMDD)の理解を深めるために	大坪 天平	東京女子医科大学附属足立医療センター精神科	23	
S3-5		指定発言	小川 真里子	東京歯科大学市川総合病院産婦人科	10	
総合討論						18

シンポジウム 4
「地域包括ケアと精神科デイケア」日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
会 場 : H会場 (福岡国際会議場 5F 「502+503」)

司会: 原 敬造 原クリニック

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S4-1	1	デイケアの可能性を再考する	飯田 仁志	福岡大学医学部精神医学教室	30	
S4-2	2	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける精神科デイケアのポジション	古屋 龍太	日本社会事業大学	30	
総合討論						60

シンポジウム 5

「患者の突然の死をどのように減らし、いかに向きあうか」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
会 場 : K会場 (福岡国際会議場 4F 「404+405」)

司会: 尾関 祐二
下田 和孝

滋賀医科大学 精神医学講座
獨協医科大学精神神経医学講座

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S5-1	1	法医剖検例からみた精神疾患患者の突然死及び自殺の特徴について	一杉 正仁	滋賀医科大学社会医学講座	25	5
S5-2	2	患者の突然の死をどのように減らし、いかに向きあうか: 様々な遺族支援の現状と課題について	辻本 哲士	滋賀県立精神保健福祉センター	25	5
S5-3	3	てんかんにおける予期せぬ突然死(SUDEP)	神 一敬	東北大学大学院医学系研究科てんかん学分野	25	5
S5-4	4	向精神薬による致死性不整脈とその予測因子	岡安 寛明	獨協医科大学 精神神経医学講座	25	5
総合討論						0

シンポジウム 6

「恐怖記憶の分子・生理学的基盤の解明とPTSDの治療開発」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
 会 場 : L会場 (福岡国際会議場 4F 「409」)

司会: 金 吉晴
 喜田 聡

国立精神・医療研究センター 精神保健研究所
 東京大学大学院農学生命科学研究科

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S6-1	1	想起後のトラウマ記憶の制御基盤	喜田 聡	東京大学大学院農学生命科学研究科	24	
S6-2	2	睡眠中の恐怖記憶処理メカニズムの解明とPTSDの治療開発	坂口 昌徳	筑波大学・国際統合睡眠医科学研究機構	24	
S6-3	3	睡眠中の恐怖記憶強化過程への介入に基づくPTSD新規治療法の開発	栗山 健一	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 睡眠・覚醒障害研究部	24	
S6-4	4	遺伝環境相互作用に着目したPTSDの病因理解	堀 弘明	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所行動医学研究部	24	
S6-5	5	PTSD治療におけるmemantineの効果と意義	金 吉晴	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター	24	
総合討論						0

シンポジウム 7

「CSPTC回路研究による精神神経症状の統合的理解:統合失調症における脳予測性障害の解明に向けて」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
 会 場 : M会場 (福岡国際会議場 4F 「410」)

司会: 小池 進介
 鬼塚 俊明

東京大学心の多様性と適応の連携研究機構
 九州大学大学院医学研究院神経画像解析学講座

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S7-1	1	双方向トランスレーショナルアプローチによる統合失調症病態解明に向けて	小池 進介	東京大学大学院総合文化研究科	10	
S7-2	2	統合失調症の γ オシレーション異常に関わる脳内ネットワークの検討	鬼塚 俊明	九州大学大学院医学研究院神経画像解析学講座	25	
S7-3	3	脳構造解析によるレボドパ誘発性ジスキネジアの病態解明への挑戦	波田野 琢	順天堂大学大学院 医学研究科	25	
S7-4	4	淡蒼球が増大する病態で何が起きているのか	田中 謙二	慶應義塾大学医学部	25	
S7-5	5	D2受容体機能障害と社会環境の相互作用による新しい統合失調症発症モデル	柳下 祥	東京大学	25	
総合討論						10

シンポジウム 8

「新時代の要請に応える支援理念や手法の創出と地域・社会への展開：課題解決型高度医療人材養成プログラム」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
 会 場 : N会場 (福岡国際会議場 4F 「411」)

司会: 笠井 清登
 明智 龍男

東京大学大学院医学系研究科精神医学分野
 名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S8-1	1	精神科多職種連携治療・ケアを担う人材養成 (PsySEPTA) の取り組み	渡部 衣美	筑波大学附属病院	20	
S8-2	2	「メンタルサポート医療人とプロの連携養成」と学校のCBTラーニング	清水 栄司	千葉大学大学院医学研究院	20	
S8-3	3	東京大学・価値に基づく支援者育成 (TICPOC) における支援理念・手法の創出と地域・社会への展開	金原 明子	東京大学医学部附属病院	20	
S8-4	4	京都大学 ASD project が発達障害支援拠点の形成に与えた影響	義村 さや香	京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻先端作業療法学講座	20	
総合討論						40

シンポジウム 9

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」における早期支援・相談の社会実装」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
 会 場 : O会場 (福岡国際会議場 4F 「412」)

司会: 田中 邦明
 根本 隆洋

メンタルクリニック三叉路
 東邦大学医学部精神神経医学講座

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S9-1	1	都市部における若年者に向けた早期相談・支援サービスについて	内野 敬	医療法人財団厚生協会東京足立病院	20	
S9-2	2	Akita Mentalhealth ICT Network (AMIN)を用いた遠隔精神保健の試行	清水 徹男	秋田県精神保健福祉センター	20	
S9-3	3	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおけるアウトリーチ支援	藤井 千代	国立精神・神経医療研究センター	20	
S9-4	4	実装科学の枠組みから考える地域の精神科早期介入	今村 晴彦	東邦大学医学部社会医学講座衛生学分野	20	
総合討論						40

シンポジウム 10

「ミクログリアの精神医学:脳内脇役細胞の働きから精神疾患の病態治療機序を再構築する」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30

会 場 : P会場 (福岡国際会議場 4F 「413」)

司会: 門司 晃

佐賀大学医学部 精神医学講座

加藤 隆弘

九州大学大学院医学研究院精神病態医学

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S10-1	1	脳内炎症をターゲットとした新しいうつ病治療薬の開発	岩田 正明	鳥取大学医学部精神行動医学分野	15	
S10-2	2	グリアに着目したECTの治療効果発現メカニズムの解明	橋岡 禎征	島根大学医学部	15	
S10-3	3	高齢者の精神的健康を維持するために—ミクログリアに着目して—	溝口 義人	佐賀大学医学部 精神医学講座	15	
S10-4	4	ヒト血液由来直接誘導ミクログリア様 (iMG) 細胞によるダイナミックな精神病理の探索	加藤 隆弘	九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学	15	
S10-5	1	指定発言	門司 晃	佐賀大学医学部 精神医学講座	15	
S10-6	2	指定発言	竹林 実	熊本大学大学院生命科学研究部 神経精神医学分野	15	
総合討論						30

シンポジウム 11
「“現代”の思春期臨床に求められているもの」

日 時 : 2022年6月16日(木) 8:30~10:30
会 場 : Q会場 (福岡国際会議場 4F 「414」)

司会: 青木 省三 慈圭会精神医学研究所
武井 明 市立旭川病院精神科

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S11-1	1	発達障害のある若者への思春期の支援	吉川 徹	愛知県医療療育総合センター中央病院	20	
S11-2	2	「カルチャー」を思春期臨床に生かす	山登 敬之	明治大学子どもこころクリニック	20	
S11-3	3	思春期の患者に診察室でできること	村上 伸治	川崎医科大学	20	
S11-4	4	思春期の若者への病棟での支援	武井 明	市立旭川病院	20	
S11-5		指定発言	鷺田 健二	慈圭病院	10	
総合討論						30

シンポジウム 12

「在留外国人との共生社会に向けたメンタルヘルス相談と精神科医療体制の構築」

日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
 会 場 : B会場 (福岡サンパレス 2F 「パレスルームA」)

司会: 桂川 修一 東邦大学医療センター佐倉病院メンタルヘルスクリニック
 竹島 正 川崎市総合リハビリテーション推進センター

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S12-1	1	在留外国人もアクセスしやすい「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築に向けて	根本 隆洋	東邦大学医学部	20	
S12-2	2	川崎市における外国人の精神科救急	石井 美緒	川崎市健康福祉局障害保健福祉部総合リハビリテーション推進センター	20	
S12-3	3	わが国において在留外国人の措置入院は年間何件発生しているのか?	花岡 晋平	千葉県精神科医療センター	20	
S12-4	4	在留ラテンアメリカ人のメンタルヘルス—暮らしやすい社会に向けて	山口 英理子	東邦大学医学部精神神経医学講座	20	
総合討論						40

シンポジウム 13
「摂食障害を外来で効果的に治療する」日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
会 場 : F会場 (福岡国際会議場 3F 「メインホール」)司会: 西園 マーハ文 明治学院大学心理学部
井上 幸紀 大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S13-1	1	摂食障害の治療の中の外来治療の位置付けと、小さな行動制限の在り方について	西園 マーハ文	明治学院大学	20	
S13-2	2	身体的合併症の治療と精神面の治療のバランス	河合 啓介	国立国際医療研究センター国府台病院心療内科	20	
S13-3	3	摂食障害診療用の食生活管理アプリ「たべちゃん」の活用	山内 常生	大阪公立大学大学院医学研究科神経精神医学	20	
S13-4	4	摂食障害の日常に関わる	武田 綾	特定非営利活動法人のびの会	20	
S13-5	5	児童・思春期における摂食障害の外来治療: 効果的な治療とは?	作田 亮一	獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター	20	
総合討論						20

シンポジウム 14
「在宅医療の始め方」日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
会 場 : H会場 (福岡国際会議場 5F 「502+503」)司会: 内田 直樹
成 本 迅医療法人すずらん会 たろうクリニック
京都府立医科大学大学院医学研究科 精神機能病態学

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S14-1	1	大学病院で多職種アウトリーチチームを立ち上げ、運営することの理想と課題	星野 俊弥	北里大学病院	20	
S14-2	2	『ザイイソウカン』のすすめ	亀山 有香	茶屋町在宅診療所	20	
S14-3	3	精神科医が主体となった一般在宅医療のはじめかた	浦島 創	医療法人すずらん会 たろうクリニック葛西	20	
S14-4	4	外来診療と在宅医療のハイブリッド型メンタルクリニックの運営	松本 良平	医療法人ここから 奈良ところとからだのクリニック	20	
総合討論						40

シンポジウム 15

「森田療法の百年を超えて:現代の外来療法の理論と技法」

日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
 会 場 : K会場 (福岡国際会議場 4F 「404+405」)

司会: 水野 雅文
 新村 秀人

東京都立松沢病院 精神科
 東洋英和女学院大学人間科学部/慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S15-1	1	森田療法と認知行動療法—あなたはどちらを好むだろうか?	黒木 俊秀	九州大学大学院人間環境学研究院	20	
S15-2	2	精神科一般診療で森田療法のエッセンスをどう活用するか? ~治療者の関わり方について~	樋之口 潤一郎	潤クリニック	20	
S15-3	3	第二世代の森田療法論	中村 敬	東京慈恵会医科大学森田療法センター	20	
S15-4	4	森田療法の100年:森田療法に関する英語論文のレビュー研究を通して	中村 充宏	横浜カメリアホスピタル	20	
S15-5	1	指定発言	水野 雅文	東京都立松沢病院 精神科	5	
S15-6	2	指定発言	北西 憲二	北西クリニック/森田療法研究所	5	
総合討論						20

オープニング5分、クロージング5分

シンポジウム 16

「各不安障害における神経発達障害併存の意義そしてインパクト ～その臨床的特徴や対応を中心に～」

日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40～12:40
 会 場 : L会場 (福岡国際会議場 4F 「409」)

司会: 松永 寿人
 塩入 俊樹

兵庫医科大学 精神科神経科学講座
 岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経科学講座精神医学分野

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S16-1	1	パニック症患者に潜む神経発達症のインパクトとその対応	塩入 俊樹	岐阜大学大学院医学系研究科精神医学分野	22	
S16-2	2	社交不安症における神経発達症の併存の意義	朝倉 聡	北海道大学保健センター・大学院医学研究院精神医学教室	22	
S16-3	3	全般不安症(GAD)における発達障害併存の意義ーインパクト	大坪 天平	東京女子医科大学附属足立医療センター	22	
S16-4	4	トラウマと神経発達症	金 吉晴	国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター	22	
S16-5	5	強迫症における神経発達障害併存の意義そしてインパクト ～その臨床的特徴や対応を中心に～	松永 寿人	兵庫医科大学精神科神経科学講座	22	
総合討論						10

シンポジウム 17
「統合失調症におけるミスマッチ陰性電位(MMN)」日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
会 場 : M会場 (福岡国際会議場 4F 「410」)司会: 矢部 博興
住吉 太幹福島県立医科大学 神経精神医学講座
独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S17-1	1	ミスマッチ陰性電位と統合失調症治療	志賀 哲也	福島県立医科大学 神経精神医学講座	30	
S17-2	2	統合失調症におけるミスマッチ陰性電位	荒木 剛	帝京大学医学部附属溝口病院	30	
S17-3	3	早期サイコーシスにおけるミスマッチ陰性電位の特徴とアウトカムの検討	樋口 悠子	富山大学 学術研究部医学系 神経精神医学講座	30	
総合討論						20

シンポジウム 18

「 Post-COVIDにおける若手精神科医たちの協働と切磋 」

日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
 会 場 : N会場 (福岡国際会議場 4F 「411」)

司会: 中尾 智博 九州大学大学院医学研究院 精神病態医学分野
 入来 晃久 大阪精神医療センター こころの科学リサーチセンター

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S18-1	1	若手医師団体のレジリエンスー各国の若手精神科医たちがCOVID-19で何を経験し、乗り越えてきたのかー	安藝 森央	京都大学大学院医学研究科 脳病態生理学教室(精神医学)	15	
S18-2	2	the 2nd JOIN meetingの道程	河岸 嶺将	認定特定非営利活動法人 日本若手精神科医の会	15	
S18-3	3	オンラインでのサマースクール開催への挑戦	射場 亜希子	兵庫県立姫路循環器病センター	15	
S18-4	4	コロナ禍における若手精神科医を繋ぐ地域活性の輪	今川 弘	認定特定非営利活動法人日本若手精神科医の会	15	
S18-5	1	指定発言	高橋 英彦	東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 精神行動医科学	10	
S18-6	2	指定発言	中神 由香子	京都大学大学院 医学研究科 脳病態生理学講座(精神医学教室)/京都大学 環境安全保健機構 健康管理部門 附属健康科学センター	10	
S18-7	3	指定発言	大矢 希	京都府立医科大学大学院医学研究科精神機能病態学	10	
総合討論						30

シンポジウム 19

「精神疾患へのスティグマ軽減に向けた実践と研究のクロストーク」

日時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
会場 : O会場 (福岡国際会議場 4F 「412」)

司会: 安藤 俊太郎
西 大輔

東京大学大学院医学系研究科精神医学分野

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部 / 東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S19-1	1	中学生に対するアンチスティグマへの試み「こころの病気を学ぶ授業」実践報告	田沢 泰子	川崎医療福祉大学 医療福祉学部 医療福祉学科	24	
S19-2	2	思春期における精神疾患へのスティグマ形成過程と家庭内伝播の検討	小池 進介	東京大学大学院総合文化研究科	24	
S19-3	3	医学生に対するアンチ・スティグマ介入の効果:日本サイトの結果から	山口 創生	国立精神・神経医療研究センター	24	
S19-4	4	日本のラグビー選手におけるメンタルヘルス対処行動の特徴	小塩 靖崇	国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部	24	
S19-5	5	心のサポーター養成事業 Nippon COCORO Action	西 大輔	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所公共精神健康医療研究部	24	
総合討論						0

シンポジウム 20
「精神科領域における共同研究の工夫と課題」

日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40~12:40
会 場 : P会場 (福岡国際会議場 4F 「413」)

司会: 堀 輝 福岡大学医学部精神医学教室
加藤 正樹 関西医科大学精神神経科学教室

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S20-1	1	共同研究への入り口の探し方	加藤 正樹	関西医科大学	20	
S20-2	2	他大学、他学部、他施設との共同研究	堀 輝	福岡大学	20	
S20-3	3	医学・看護学・工学連携の共同研究	池田 智	福岡大学	20	
S20-4	4	産学連携による研究開発の実際	岸本 泰士郎	慶應義塾大学	20	
S20-5	5	製薬会社から作り出す共同研究	小笠 昌秋	住友ファーマ株式会社	20	
総合討論						20

シンポジウム 21

「日々の臨床で子どものうつ病に気付く ～限られた時間の中で～」

日 時 : 2022年6月16日(木) 10:40～12:40
 会 場 : Q会場 (福岡国際会議場 4F 「414」)

司会: 岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S21-1	1	なぜ今子どものうつ病を学ばないといけないのか	稲垣 貴彦	医療法人明和会 琵琶湖病院	10	
S21-2	2	診療場面の中で子どものうつ病の見え方	宇佐美 政英	国立国際医療研究センター国府台病院	20	
S21-3	3	臨床場面でうつ病に気付くために～発達過程の中でうつ病に気付く～	阪上 由子	滋賀医科大学 小児科学講座(小児発達支援学部門)	20	
S21-4	4	行動変化の中からうつ病に気づく	田中 恒彦	新潟大学	20	
総合討論						20
S21-5	1	指定発言	傳田 健三	平松記念病院	10	
S21-6	2	指定発言	小野 善郎	和歌山県精神保健福祉センター	10	
質疑応答						10

シンポジウム 22

「わが国における大規模調査MUSUBI-Jの結果から分かった双極性障害を巡る諸問題に対するヒント」

日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
 会 場 : F会場 (福岡国際会議場 3F 「メインホール」)

司会: 渡邊 衡一郎 杏林大学医学部精神神経科学教室
 後藤 英一郎 心和堂後藤クリニック

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S22-1	1	就労を巡る諸問題について ~双極性障害における病状の安定性と就労状況の関連~	池ノ内 篤子	産業医科大学医学部精神医学教室	18	
S22-2	2	双極性障害患者の寛解や急速交代型の経過と処方との関連 -MUSUBI研究2年間のデータより-	加藤 正樹	関西医科大学	18	
S22-3	3	MUSUBI-J調査から得られた双極I型・II型障害の外来薬物療法の実態	篠崎 将貴	獨協医科大学精神神経医学講座	18	
S22-4	4	本邦における双極性障害外来患者の治療費の推定	窪田 幸久	公益社団法人 日本精神神経科診療所協会	18	
S22-5	5	3年転帰から見えるもの: 抗うつ薬の使用は躁状態を誘発するのか	古郡 規雄	獨協医科大学	18	
S22-6		指定発言	窪田 幸久	中央公園クリニック	10	
総合討論						20

シンポジウム 23

「曲がり角に立つ精神科入院医療—マクロ状況と精神科臨床から—」

日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
 会 場 : H会場 (福岡国際会議場 5F 「502+503」)

司会: 竹島 正 川崎市総合リハビリテーション推進センター
 福田 正人 群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S23-1	1	統計から見た精神科入院医療の変化	竹島 正	川崎市健康福祉局	15	
S23-2	2	NDBからみる精神科医療に関する医療ニーズの変化	奥村 泰之	一般社団法人 臨床疫学研究推進機構	15	
S23-3	3	精神科領域における実効的な行動制限最小化方法の普及について	杉山 直也	公益財団法人復康会 沼津中央病院	20	
S23-4	4	人口減少地域における精神科救急医療の実状	北村 立	石川県立こころの病院	15	
S23-5	5	臨床現場からの改革は可能か—micro総合病院の必要性	森 隆夫	あいせい紀年病院	15	
S23-6	1	指定発言	福田 正人	群馬大学大学院医学系研究科神経精神医学	10	
S23-7	2	指定発言	吉田 光爾	東洋大学大学院ライフデザイン学研究所	10	
総合討論						20

シンポジウム 24
「事例検討会について検討する」日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
会 場 : K会場 (福岡国際会議場 4F 「404+405」)

司会: 衛藤 暢明

福岡大学医学部精神医学教室

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S24-1	1	大学病院における力動的視点を持った症例検討会のあり方	木村 宏之	名古屋大学大学院医学系研究科	25	
S24-2	2	小ウィンドウ方式によるグループダイナミクスの理解について～精神科デイケアでの事例検討会～	中村 浩平	広島市精神保健福祉センター	25	
S24-3	3	臨床精神病理学的視点からみたケース・カンファレンスについて	古茶 大樹	聖マリアナ医科大学 神経精神科	25	
S24-4		指定発言	白波瀬 丈一郎	東京都済生会中央病院 健康デザインセンター	20	
総合討論						25

シンポジウム 25

「精神療法と技法—治療理論との必然的結びつきに着目して」

日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
 会 場 : L会場 (福岡国際会議場 4F 「409」)

司会: 北西 憲二
 新村 秀人

北西クリニック/森田療法研究所
 東洋英和女学院大学人間科学部/慶應義塾大学医学部精神神経科学教室

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S25-1	1	精神療法の技法はなぜ逆説的にならざるを得ないのか?	田所 重紀	札幌医科大学	20	
S25-2	2	精神分析という道:自由と不自由が共存する物理的時空間で獲得する心の自由	加藤 隆弘	九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学	20	
S25-3	3	分析心理学はなぜ・どのようにイメージに取り組むのか?	林 公輔	学習院大学	20	
S25-4	4	森田療法と技法:行動的体験と心的流動性へ促す介入	新村 秀人	東洋英和女学院大学人間科学部	20	
総合討論						30

オープニング5分、クロージング5分

シンポジウム 26

「地域精神科医療の多面的な展開—当事者や家族と良好な治療関係を築くために—」

日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
 会 場 : M会場 (福岡国際会議場 4F 「410」)

司会: 天笠 崇 静岡社会健康医学大学院大学
 的場 文子 メンタルクリニック Matoba

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S26-1	1	精神保健福祉センターのアウトリーチ支援事業の取組	西 いづみ	東京都中部総合精神保健福祉センター	17	
S26-2	2	多職種アウトリーチチーム(ACT)による当事者支援・家族支援の方法	伊藤 順一郎	メンタルヘルス診療所しほふぁーれ	17	
S26-3	3	訪問服薬・心理教室プログラムHOPEを用いたSSTによる訪問支援について	高木 友徳	ともこころのクリニック	17	
S26-4	4	当事者や家族と良好な治療関係を築くために—オープンダイアログの視点から—	笹原 信一郎	筑波大学医学医療系	17	
S26-5	5	24年に及ぶ精神障害者家族教室の実践から、家族の求める支援について	須藤 友博	群馬県立精神医療センター	17	
総合討論						30

シンポジウム 27

「ヒト脳MRI研究の大規模・高精度化で、精神科臨床と精神医学がどう変わるのか？」

日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
会 場 : N会場 (福岡国際会議場 4F 「411」)

司会: 笠井 清登 東京大学医学部附属病院精神神経科
平野 羊嗣 九州大学大学院医学研究院精神病態医学

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S27-1	1	精神疾患における脳画像・生理バイオマーカーとデータシェアリングの歴史と展望	笠井 清登	東京大学医学部附属病院	20	
S27-2	2	縦断的MRIデータに基づく成人期気分障害と関連疾患の神経回路の解明	岡本 泰昌	広島大学 精神神経医科学	20	
S27-3	3	脳MRI多施設共同研究に必要なハーモナイゼーション技術	小池 進介	東京大学大学院総合文化研究科	20	
S27-4	4	疾患横断的な脳波の多施設共同研究	平野 羊嗣	九州大学大学院医学研究院	20	
S27-5	5	MRI機種・霊長類種間の調和技術による脳コネクトームの解明と精神疾患への応用	林 拓也	理化学研究所生命機能科学研究センター	30	
総合討論						10

シンポジウム 28

「物質使用障害の軽症と重症とは？-予後予測の難しさや治療選択の難しさ-」

日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
 会 場 : O会場 (福岡国際会議場 4F 「412」)

司会: 齋藤 利和
 射場 亜希子

平岸病院/社会福祉法人博友会 精神医学研究所
 兵庫県立姫路循環器病センター 高齢者脳機能治療室

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S28-1	1	対象理解のススメ	村山 裕子	独立行政法人国立病院機構さいがた医療センター	15	
S28-2	2	アルコール使用障害の重症度と回復について-震災被災地支援者支援から見えたこと-	奥平 富貴子	東北会病院	15	
S28-3	3	非行少年にとって、物質使用は障害か？	中野 温子	奈良少年院	15	
S28-4	4	物質使用障害患者における重症度および長期予後の水面下に横たわるもの-調査研究を通して	板橋 登子	神奈川県立精神医療センター	15	
S28-5	5	物質使用障害における、目に見えにくい重症度と回復	長 徹二	一般財団法人 信貴山病院 ハートランドしぎさん	15	
S28-6	1	指定発言	宮田 久嗣	東京慈恵会医科大学 精神医学講座	5	
S28-7	2	指定発言	齋藤 利和	平岸病院/社会福祉法人博友会 精神医学研究所	5	
S28-8	3	指定発言	樋口 進	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター	5	
S28-9	4	指定発言	松井 佑樹	厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 精神・障害保健課	5	
総合討論						25

シンポジウム 29
「盗癖に対する治療と司法的問題」日 時 : 2022年6月16日(木) 14:00~16:00
会 場 : P会場 (福岡国際会議場 4F 「413」)

司会: 長谷川 直実 医療法人社団ほっとステーション 大通公園メンタルクリニック

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S29-1	1	小規模外来診療所における病的窃盗患者の 治療対応とその展望	奥田 宏	ひろメンタルクリニック	20	
S29-2	2	病的窃盗の成立機序と条件反射制御法による 対応	平井 慎二	独立行政法人国立病院機構 下総精神医療 センター	20	
S29-3	3	女性窃盗事犯者に対する条件反射制御法と 生活支援	佐々木 渉	医療法人社団ほっとステーション 大通公園 メンタルクリニック	20	
S29-4	4	盗癖に対する司法的問題	林 大悟	弁護士法人鳳法律事務所	20	
総合討論						30

シンポジウム 30
「成人期発達障害の薬物療法」日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
会 場 : A会場 (福岡サンパレス 2F 「大ホール」)司会: 岩波 明 昭和大学医学部 精神医学講座
柏 淳 ハートクリニック横浜

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S30-1	1	統合失調症治療に自閉スペクトラム症傾向の併発が与える影響を考える	尾関 祐二	滋賀科大学 精神医学講座	25	
S30-2	2	ADHD薬物療法再考～気分障害との対比から	柏 淳	医療法人社団ハートクリニック ハートクリニック横浜	25	
S30-3	3	成人期ADHDにおける薬物療法におけるグアンファシンの有用性について	鈴木 洋久	昭和大学附属烏山病院	25	
S30-4	4	成人期神経発達障害と日中の過度の眠気	内田 直	医療法人社団docilis すなおクリニック	25	
総合討論						20

シンポジウム 31

「 COVID-19は感染者の精神面にどのような影響を与えたか 」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
 会 場 : C会場 (福岡サンパレス 2F 「パレスルームB」)

司会: 中尾 智博
 楯林 英晴

九州大学大学院医学研究院 精神病態医学分野
 福岡県精神保健福祉センター

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S31-1	1	コロナ禍での大学病院における精神科リエゾンチーム診療の特徴	大橋 綾子	九州大学病院精神科神経科	20	
S31-2	2	新型コロナウイルス感染症罹患後に福岡大学病院に入院となった患者の精神症状について	衛藤 暢明	福岡大学医学部精神医学教室	20	
S31-3	3	総合病院におけるCOVID-19患者に対するリエゾン活動	光安 博志	麻生飯塚病院 リエゾン精神科	20	
S31-4	4	COVID-19軽症者等宿泊療養施設利用者における精神状態及び相談ニーズの分析	楯林 英晴	福岡県精神保健福祉センター	20	
S31-5	5	太宰府病院における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の受入れについて	尾久 征三	福岡県立精神医療センター太宰府病院	20	
S31-6		指定発言	村山 桂太郎	九州大学病院精神科神経科	10	
総合討論						10

シンポジウム 32

「致死疾患で死にゆく患者の精神的な苦痛/苦悩の緩和に精神科医は貢献できるか？」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
 会 場 : F会場 (福岡国際会議場 3F 「メインホール」)

司会: 内富 庸介
 明智 龍男

国立がん研究センター

名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S32-1	1	キュアとケアの間 死にゆく患者とその家族に精神科医は何かできるか	岡島 美朗	自治医科大学附属さいたま医療センター	20	
S32-2	2	生きる意味とMeaning-centered psychotherapy	藤澤 大介	慶應義塾大学医学部	20	
S32-3	3	終末期せん妄の治療とケアのゴール	内田 恵	名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学	20	
S32-4	4	うつ状態の終末期がん患者をどのように診断し、いかに治療するか?	五十嵐 江美	東北大学大学院医学系研究科精神神経学分野	20	
総合討論						30

シンポジウム 33

「リカバリー志向の多職種チームでの精神科医の役割を考える ―医師はチームリーダーであるべきなのか?―」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
 会 場 : H会場 (福岡国際会議場 5F 「502+503」)

司会: 伊藤 順一郎 メンタルヘルスクリニックしっぽふぁーれ
 内野 俊郎 久留米大学医学部神経精神医学講座

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S33-1	1	ACT(Assertive Community Treatment:包括型地域生活支援)における精神科医の役割(仮)	岡崎 公彦	岡崎クリニック	20	
S33-2	2	ACTと入院治療の連携のなかで精神科医が果たすべき役割を考える	西尾 雅明	東北福祉大学せんだんホスピタル	20	
S33-3	3	精神医療・福祉における多職種連携の推進に特化した専門チームの必要性とその取り組み	林 輝男	清和会西川病院	20	
S33-4	4	医学教育の中で多職種連携をどう学ぶか?	内野 俊郎	久留米大学医学部 神経精神医学講座	20	
総合討論						40

シンポジウム 34

「成人の臨床においてトラウマをどう治療・支援するか」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
 会 場 : L会場 (福岡国際会議場 4F 「409」)

司会: 青木 省三
 田中 究

慈恵会精神医学研究所
 兵庫県立ひょうごこころの医療センター

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S34-1	1	トラウマと信頼障害仮説-依存症臨床の現場から	小林 桜児	神奈川県立精神医療センター	20	
S34-2	2	成人の臨床と児童虐待 精神科クリニックの現場から	大高 一則	医療法人大高クリニック	20	
S34-3	3	診察室でどうトラウマに対処するか-総合病院精神科の現場から	村上 伸治	川崎医科大学	20	
S34-4	4	精神病圏の疾患をもつ人とトラウマ-単科精神科病院の現場から-	田中 究	兵庫県立 ひょうご こころの医療センター	20	
S34-5		指定発言	原田 修一郎	仙台市精神保健福祉総合センター	10	
総合討論						30

シンポジウム 35

「精神疾患患者の社会認知機能障害の知見をどのように臨床応用するか」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
 会 場 : M会場 (福岡国際会議場 4F 「410」)

司会: 橋本 直樹

北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室

根本 隆洋

東邦大学医学部精神神経医学講座

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S35-1	1	精神疾患患者の社会認知機能障害に関する取り組み	大久保 亮	国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター	10	
S35-2	2	日本の臨床現場で実施可能な精神疾患患者に対する社会認知機能検査の検討	秋山 久	北海道大学大学院医学研究院神経病態学分野精神医学教室	20	
S35-3	3	統合失調症を有する当事者の社会認知に関する認識と主観的困難	内野 敬	東邦大学医学部精神神経医学講座	20	
S35-4	4	統合失調症の社会認知機能障害に対する経頭蓋直流電気刺激(tDCS)の効果	山田 悠至	国立精神・神経医療研究センター病院 司法精神診療部	20	
S35-5	5	精神疾患における社会認知機能障害への介入	池澤 聰	東京大学大学院総合文化研究科ギフトド創成寄付講座	20	
S35-6		指定発言	竹田 和良	国立精神・神経医療研究センター病院	5	
総合討論						25

シンポジウム 36

「精神医療は初期研修医教育に何をもたらせるのか」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10～18:10
 会 場 : N会場 (福岡国際会議場 4F 「411」)

司会: 清水 勇雄 特定医療法人恵風会 高岡病院
 俊野 尚彦 十条産業保健事務所

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S36-1	1	身体科を志望する者が精神科研修から学ぶこと	青江 佳歩	姫路赤十字病院	10	
S36-2	2	精神科に志望を変更するに至るまでの内観	中岡 実咲	医療法人恵風会 高岡病院	10	
S36-3	3	医療者教育学の視点から考える精神科研修の意義	松坂 雄亮	長崎県精神医療センター 精神科	15	
S36-4	4	何科に行っても役立つ精神医学	長 徹二	一般財団法人 信貴山病院 ハートランドしぎさん	15	
S36-5	5	精神科研修が初期研修医にもたらしたであろうこと～教育者としての内観・提言～	清水 勇雄	特定医療法人恵風会 高岡病院	15	
S36-6	1	指定発言	山西 恭輔	兵庫医科大学 精神神経免疫学講座	5	
S36-7	2	指定発言	小野 正博	福島県立宮下病院	5	
S36-8	3	指定発言	入来 晃久	大阪精神医療センター	5	
総合討論						30

シンポジウム 37
「ゲーム障害は精神疾患なのか？」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
会 場 : P会場 (福岡国際会議場 4F 「413」)

司会: 松崎 尊信

国立病院機構久里浜医療センター

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S37-1	1	わが国のゲーム使用の実態:2019年全国調査の結果から	金城 文	鳥取大学医学部社会医学講座環境予防医学分野	20	
S37-2	2	薬物依存から捉えるゲーム障害	曾良 一郎	神戸大学大学院医学研究科	20	
S37-3	3	神経発達症との関係からみたゲーム障害	舘農 勝	特定医療法人さっぽろ悠心の郷 ときわ病院	20	
S37-4	4	社会的ひきこもりとゲーム障害	加藤 隆弘	九州大学 大学院医学研究院 精神病態医学	20	
S37-5	5	相談事例から捉えるゲーム障害~全国精神保健福祉センターにおけるゲーム障害関連相談の現状と課題~	原田 豊	鳥取県立精神保健福祉センター	20	
総合討論						20

シンポジウム 38

「強度行動障害を伴う知的・発達障害児(者)への医療の役割」

日 時 : 2022年6月16日(木) 16:10~18:10
 会 場 : Q会場 (福岡国際会議場 4F 「414」)

司会: 岡田 俊

国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部

會田 千重

国立病院機構 肥前精神医療センター

演題番号	発表順	演題名	氏名	所属	発表時間(分)	討論時間(分)
S38-1	1	強度行動障害の医療～各地域・医療機関ごとの現状	會田 千重	独立行政法人国立病院機構 肥前精神医療センター	10	
S38-2	2	精神科救急での強度行動障害医療の課題	児玉 匡史	岡山県精神科医療センター	15	
S38-3	3	強度行動障害の医療～行動療法・薬物療法の考え方	吉川 徹	愛知県医療療育総合センター中央病院	15	
S38-4	4	一般精神科病棟における強度行動障害を有する知的障害児者	山下 健	独立行政法人大阪府立病院機構大阪精神医療センター	15	
S38-5	1	指定発言	松崎 貴之	厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害保健福祉課	10	
S38-6	2	指定発言	井上 雅彦	鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座	10	
S38-7	3	指定発言	市川 宏伸	日本発達障害ネットワーク	10	
総合討論						25